
ヘルスケアデータの取り扱いに関する方針について

私たちは、京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学分野・腎臓内科学分野・臨床システム腫瘍学分野・医療疫学分野・医療経済学分野・薬剤疫学分野、および京都大学医学部附属病院医療情報企画部・診療報酬センターとの共同研究で、下記のような医療ビッグデータを取り扱う研究を実施しております。本研究は京都大学医の倫理委員会の承認を得たうえで、個人情報を持定できない形で既存のカルテ情報等から特定の項目に限定したデータ収集を行っております。しかし、患者さんがご自身の情報が使用されることを望まない場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、拒否することが可能です。

【研究計画名】

高齢者医療の適正化推進に向けたエビデンス診療ギャップの解明——既存データベースを利用した、京都大学オンサイトセンターにおけるレセプト情報等データベース (NDB) の活用方策の検討

【研究の意義・目的】

国が提供するレセプト情報等データ (通称 NDB) をはじめとする複数の既存データベースを利用し、高齢者における医療の実態を把握するとともに、既存のエビデンスとのギャップの有無を評価し、適切な高齢者医療の推進に資する研究を行うことを目的とします。

【研究対象】

下記参加施設において診療を受けた患者のうち、研究対象となる高齢患者

【研究の方法】

2003 年以降に、下記施設で診療を受けた患者のカルテ情報等から、検査結果など特定の項目に限定したデータ収集を行い、既存の医療ビッグデータ (大規模レセプト情報等) との比較検討を行うことで、医療ビッグデータのバリデーション研究を行います。

【個人情報保護について】

研究者によって個人が特定される情報は、本研究では使用いたしません。

【参加施設】

京都大学医学部附属病院、三菱京都病院

【参加拒否の自由】

参加拒否は自由であり、随時参加の撤回が可能です。それにより不当な医療上の不利益は発生しません。参加拒否をご希望される場合は、下記にご連絡下さい。

【研究責任者】

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授 中山 健夫

【本研究に関するお問い合わせ】

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 戦略研究事務局

(電話) 075-366-7656 (E-mail) neff.yukiko.7c@kyoto-u.ac.jp